

●食物栄養学科のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

栄養士の仕事は人間が生きていくための基本である「食」を通して、人々の健康を維持・増進し、生活の質（QOL）を高めることができるようにサポートすることです。

そこで、次に掲げるような人を積極的に受け入れます。

(A) 学力の3要素について

(A-1) 基礎的・基本的な知識・技能について

- ① 高等学校レベルの「現代国語」の国語力が備わっている人
- ② 高等学校レベルの「生物」や「化学」など自然科学の科目を学習し、ものごとを科学的に考え、汎用的計算力が備わっている人
- ③ 高等学校レベルの「家庭科」の技能が備わっている人
- ④ 「情報処理」の基礎的な技能が備わっている人

(A-2) 課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力について

- ① 新聞記事等を読み、理解して、自分の意見や感想を作文で表すことのできる人
- ② グループの中で、他人の意見を踏まえて自分の意見を的確に伝えることのできる人

(A-3) 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 学習に対して、自らの意志、考え、信念を持ち、さらに柔軟な思考力や知的好奇心が旺盛な人
- ② 健康の保持増進および生活習慣病予防等に関する食知識・技能を修得したい人
- ③ 栄養指導および給食の運営に関する調理や献立作成に関する技能を修得したい人
- ④ 食生活に精通し、豊かな発想力によって食育を推進したい人
- ⑤ 医療保険制度やレシピ作成業務などの知識・技能を修得したい人

(B) 行動特性について

- ① 何事に対してもチャレンジし、可能性を追求する姿勢に富んだ人
- ② 自己管理ができる人
- ③ グループワーク・チームワークなどにおいて協調して取り組むことができる人
- ④ 自らの考えを持ちながらも、他者を認め、協力しあえる人

(C) 選択した学科とのマッチングについて

- ① 栄養士の資格を活かして給食運営や食育推進の現場で活躍したい人
- ② 様々なことに積極的に取り組み、努力できる人
- ③ 「薬理学」「医療保険制度」「救急看護」「医療秘書学」などを学修してコメディカルスタッフとして活躍したい人

(D) 評価（入学者選抜）について

- ① 総合型選抜では、面談（口頭試問を含む）と志望理由書及び調査書によって、上記（A）、（B）、（C）の観点で確認します。
- ② 学校推薦型選抜（指定校制）では面接（口頭試問を含む）と推薦書及び調査書によって、上記（A）、（B）、（C）の観点で確認します。
- ③ 学校推薦型選抜（一般公募制）では、国語の試験と面接、推薦書及び調査書によって、上記（A）、（B）、（C）の観点で確認します。
- ④ 一般選抜（前期）では、国語及び選択科目（英語・日本史・生物）の各試験と調査書によって、上記（A）の学力の3要素を確認します。また、調査書によって、上記（B）、

(C) の観点で確認します。

- ⑤ 大学入学共通テスト利用入試では、選択した学力試験 2 科目によって、上記 (A) の学力の 3 要素を確認します。また、調査書によって、上記 (B) , (C) の観点で確認します。
- ⑥ 社会人入試及び外国人留学生入試では、志望理由書、作文及び面接によって、上記 (A)、(B)、(C) の観点で確認します。
- ⑦ 一般選抜 (後期) では、国語の試験によって、上記 (A) の学力の 3 要素を確認します。また、調査書によって、上記 (B)、(C) の観点で確認します。

● 幼児教育学科のアドミッション・ポリシー (入学者受け入れの方針)

幼児教育・保育についての関心があり、子どもの成長と幸福を願い、将来保育者として社会に貢献したいという志を持った人を望みます。

そこで、次に掲げるような人を積極的に受け入れます。

(A) 学力の 3 要素について

(A-1) 基礎的・基本的な知識・技能について

- ① 高等学校レベルの「現代国語」の国語力が備わっている人
- ② 「音楽」に親しみ、ピアノ等の楽器や歌で表現できる力が備わっている人
- ③ 「美術」に親しみ、もの作りにおいて表現できる力が備わっている人
- ④ 「体育」などの運動に親しみ、基礎的な運動能力が備わっている人
- ⑤ 「情報処理」の基礎的な技能が備わっている人

(A-2) 課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力について

- ① 新聞記事を読み、理解して、自分の意見や感想を作文で表すことのできる人
- ② グループの中で、他人の意見を踏まえて自分の意見を的確に伝えることのできる人
- ③ 伝えたい事を物や身体を使って表現できる人

(A-3) 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 学習に対して、自らの意志、考え、信念を持ち、さらに柔軟な思考力や知的好奇心が旺盛な人
- ② 乳幼児の発育発達について専門的に学びたい人
- ③ 他者の気持ちを想像できる人
- ④ 子どもの行動で起こりうる出来事や可能性を想像できる人

(B) 行動特性について

- ① 何事に対してもチャレンジし、可能性を追求する姿勢に富んだ人
- ② 自己管理ができる人
- ③ こどもや弱者を尊重し、愛情を持って接することができる人
- ④ 自らの考えを持ちながらも、他者を認め、協力しあえる人

(C) 選択した学科とのマッチングについて

- ① 幼稚園教諭の資格を活かして、幼稚園の現場で活躍したい人
- ② 保育士の資格を活かして、保育の現場で活躍したい人

(D) 評価 (入学者選抜) について

- ① 総合型選抜では、面談 (プレゼンテーションを含む) と志望理由書及び調査書によって、上記 (A)、(B)、(C) の観点で確認します。

- ②学校推薦型選抜（指定校制）では面接（口頭試問を含む）と推薦書及び調査書によって、上記（A）、（B）、（C）の観点で確認します。
- ③ 学校推薦型選抜（一般公募制）では、国語の試験と面接、推薦書及び調査書によって、上記（A）、（B）、（C）の観点で確認します。
- ④ 一般選抜（前期）では、国語及び選択科目（英語・日本史・生物）の各試験と調査書によって、上記（A）の学力の3要素を確認します。また、調査書によって、上記（B）、（C）の観点で確認します。
- ⑤大学入学共通テスト利用入試では、選択した学力試験 2 科目によって、上記（A）の学力の3要素を確認します。また、調査書によって、上記（B）、（C）の観点で確認します。
- ⑥ 社会人入試及び外国人留学生入試では、志望理由書、作文及び面接によって、上記（A）、（B）、（C）の観点で確認します。
- ⑦ 一般選抜（後期）では、国語の試験によって、上記（A）の学力の3要素を確認します。また、調査書によって、上記（B）、（C）の観点で確認します。

●生活デザイン総合学科のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

生活デザイン総合学科では、多様な分野の科目履修によって得られる幅広い教養を基に、自己の進路設計・進路実現に必要な基礎・専門的知識・技能を学修できます。

そこで、次に掲げるような人を積極的に受け入れます。

(A) 学力の3要素について

(A-1) 基礎的・基本的な知識・技能について

- ① 高等学校レベルの「現代国語」の国語力が備わっている人
- ② 高等学校レベルの「社会」の知識が備わっている人
- ③ 高等学校レベルの「英語」の能力が備わっている人
- ④ 高等学校レベルの「家庭科」の技能が備わっている人
- ⑤ 「情報処理」の基礎的な技能が備わっている人

(A-2) 課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力について

- ① 新聞記事などを読み、理解し、自分の感想や意見を作文で表すことのできる人
- ② グループの中で、他人の意見を踏まえて自分の意見を的確に伝えることのできる人

(A-3) 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 学習に対して、自らの意志、考え、信念を持ち、さらに柔軟な思考力や知的好奇心が旺盛な人
- ② 自己の進路をデザインするため、興味や関心のある学修分野を学びたい人
- ③ 自己の進路をデザインするため、興味や関心のある資格取得や検定試験に挑戦したい人
- ④ カナダ、韓国、台湾などの文化や人々との交流に興味のある人

(B) 行動特性について

- ① 自己管理ができる人
- ② 目標達成のため、旺盛なチャレンジ精神を発揮して努力を惜しまない人
- ③ 自分の可能性や将来の夢に向かって計画的に物事に取り組める人
- ④ 社会性を持ち、責任を持って行動できる人
- ⑤ 自らの考えを持ちながらも、他者を認め、協力しあえる人

(C) 選択した学科とのマッチングについて

- ① 一般事務、販売士、介護士、医療事務、営業職、図書館司書などに就いて活躍したい人。

(D) 評価（入学者選抜）について

- ① 総合型選抜では、面談（口頭試問を含む）と志望理由書及び調査書によって、上記（A）、（B）、（C）の観点で確認します。
- ② 学校推薦型選抜（指定校制）では面接（口頭試問を含む）と推薦書及び調査書によって、上記（A）、（B）、（C）の観点で確認します。
- ③ 学校推薦型選抜（一般公募制）では、国語の試験と面接、推薦書及び調査書によって、上記（A）、（B）、（C）の観点で確認します。
- ④ 一般選抜（前期）では、国語及び選択科目（英語・日本史・生物）の各試験と調査書によって、上記（A）の学力の3要素を確認します。また、調査書によって、上記（B）、（C）の観点で確認します。
- ⑤ 大学入学共通テスト利用入試では、選択した学力試験2科目によって、上記（A）の学力の3要素を確認します。また、調査書によって、上記（B）、（C）の観点で確認します。
- ⑥ 社会人入試及び外国人留学生入試では、志望理由書、作文及び面接によって、上記（A）、（B）、（C）の観点で確認します。
- ⑦ 一般選抜（後期）では、国語の試験によって、上記（A）の学力の3要素を確認します。また、調査書によって、上記（B）、（C）の観点で確認します。